

TOS開局55周年記念時代劇ドラマ「はぐれ鴉」 大分ロケバージョンビジュアル公開!



TOS開局55周年時代劇ドラマ

はぐれ鴉

神尾楓珠
山本千尋
マギー 正名僕蔵 和田聰宏
野添義弘 森田甘路 高岸宏行 松角洋平
高橋英樹
マキタスポーツ / 財前直見
椎名桔平

原作: 赤神諒『はぐれ鴉』(集英社刊)
監督: 山下智彦 脚本: 松下隆一 音楽: 栗山和樹
エグゼクティブプロデューサー: 亀西寛
制作協力: 東映京都撮影所 制作: TOSテレビ大分 メディアラボ
後援: 大分県 竹田市 杵築市 国東市 豊後大野市 臼杵市

2025年7月 TOSテレビ大分で放送
(時代劇専門チャンネル BS11でも放送予定)

わくわく
をどお!
TOS 55

放送局
テレビ大分

 黒津崎海岸 (国東市)	 酢屋の坂 (杵築市)	 久住高原 (竹田市)	 岡城跡 (竹田市)	 滞道峽 (豊後大野市)	 風連鍾乳洞 (臼杵市)
--	---	---	--	---	--

TOSテレビ大分開局55周年記念として
赤神 諒原作『はぐれ鴉』(集英社刊)の時代劇ドラマを制作!
寛文六年、竹田藩で起きた凄惨な事件。ただ一人逃げのびた主人公による復讐劇。
誰が敵で、誰が味方なのか。隠し通された秘密が明らかになる…。
放送はテレビ大分で2025年7月を予定。

【物語】

寛文六年、豊後国・竹田藩で城代一族郎党含め二十六人殺しという凄惨な事件が起きた。

一人逃げのびた幼き次郎丸は復讐のため、江戸で剣の腕を磨き山川才次郎と名を変え、叔父である現城代・玉田巧佐衛門がいる竹田の地を十四年ぶりに踏んだ。長い時を経て再会した巧佐衛門は、兇行を目の当たりにした当時の印象と違い、みすばらしい容姿で、高位にありながら地位や名誉に関心がない変わり者“はぐれ鴉”と周囲から噂されていた。

そして才次郎は竹田小町と評判の巧佐衛門の娘・英里と出会い、予期せず惹かれていく。恋か復讐か、千々に乱れる心を抱きながらも、煮え滾る復讐心を支えに必ずや叔父を討つと心に誓うのだが……。

【概要】

タイトル：TOS開局55周年記念時代劇ドラマ「はぐれ鴉」

放送：2025年7月予定（テレビ大分）

時代劇専門チャンネル BS11 他放送予定

原作：赤神 諒『はぐれ鴉』（集英社刊）

出演：神尾 楓珠 椎名 桔平 山本 千尋 財前 直見 他

監督：山下 智彦

脚本：松下 隆一

制作著作：テレビ大分 メディアプルポ

制作協力：東映京都撮影所

後援：大分県 竹田市 杵築市 国東市 豊後大野市 臼杵市

公式HP：<https://www.tostv.jp/haguregarasu>

【大分ロケver ビジュアル掲載写真】

大分ロケは3人のキャストが参加し、2025年1月10日～12日にかけて県内の5市で行われました。県内は寒波に見舞われて各地で雪が降り積もり、当初の予定を変更しながら撮影を実施。ロケ地ではそれぞれの場所の魅力も詰まったスチール写真も撮影され、このたび大分ロケバージョンのビジュアルを制作することにしました。

【大分県内ロケ地】

竹田市：黄牛の滝、久住高原、岡城跡、長湯温泉・ガニ湯
杵築市：酢屋の坂、勘定場の坂 国東市：黒津崎海岸
豊後大野市：滞迫峡 白杵市：風連鍾乳洞



竹田市
黄牛の滝
(あめうしのたき)

主人公・山川才次郎（神尾楓珠さん）が、とある理由から思いを爆発させ、滝に向かってひとり剣を振るうシーンを撮影。

駐車場から滝にたどり着くまでには、寒波の影響で凍った地面やごつごつした岩場もあります。まるで秘境のような遊歩道を進んでいくと、落差およそ25m、水しぶきを上げながら勢いよく流れ落ちる滝が見えてきます。大迫力の滝を前に、神尾さんも気迫のこもった演技で才次郎の気持ちを表現していました。

住所：大分県竹田市上坂田

【大分ロケver ビジュアル掲載写真】



**国東市
黒津崎海岸**
(くろつざきかいがん)

才次郎（神尾さん）が一族郎党殺しの仇敵への復讐を胸に秘め、江戸から大分の地に舞い戻ってきたシーンを撮影。このシーンがクランクインとなりました。一面の銀世界に陽光が降り注いで幻想的な景色が広がり、決意を瞳に宿した才次郎の心情とのコントラストが印象的に映し出されました。

住所：大分県国東市国東町小原



**杵築市
酢屋の坂**
(すやのさか)

酢屋の坂と、すぐそばの勘定場の坂で撮影されたのは、竹田藩士の小津主水（森田甘路さん）が才次郎（神尾さん）に藩内を案内するシーン。石垣と土塀、石畳の調和がとれたこの坂は、江戸時代も主要な通路として使われていました。雪のためこちらのエリアでの撮影は1日延期となり、地元の方やスタッフが雪かきをして本番を迎えました。地元エキストラも参加しています。

住所：大分県杵築市杵築

【大分ロケverビジュアル掲載写真】



竹田市
久住高原
(くじゅうこうげん)

くじゅう連山の裾野、素晴らしい眺望が広がる久住高原では才次郎（神尾さん）が、仇敵の娘でヒロインの英里（山本千尋さん）にお願い事をされるシーンなどが撮影されました。標高が高く身を切る冷たさの風が吹く中で、山下智彦監督をはじめとするスタッフ、そしてキャストの2人も、一切妥協することなく撮影に臨んでいました。

住所：大分県竹田市久住町久住



竹田市
岡城跡
(おかじょうあと)

物語の舞台「竹田藩」のモチーフとなった岡藩の城跡。岡城は“難攻不落の堅城”とうたわれ、岡城跡は現在、国指定史跡となっています。才次郎（神尾さん）と主水（森田さん）が話しながら歩くシーンなどを撮影。地元のエキストラも参加しました。撮影後、神尾さんは「作品で描かれている時代の名残を感じることができました」と話していました。

住所：大分県竹田市竹田

【大分ロケver ビジュアル掲載写真】



豊後大野市 滞迫峡

(たいさこきょう)

竹田藩を流れる稲葉川のほとりのシーンが撮影されたのは、竹田市隣の豊後大野市の滞迫峡です。才次郎（神尾さん）と英里（山本さん）による、見せ場のシーンのひとつでした。柱状節理のダイナミックな絶壁と澄んだ水の織り成す景色も見どころです。

住所：豊後大野市緒方町滞迫



臼杵市 風連鍾乳洞

(ふうれんしょうにゅうどう)

時代ミステリの要素もある「はぐれ鴉」。“謎”に関わるある場所の入り口が、鍾乳洞の入り口を使って撮影されました。小道具の石像や京都から運ばれてきた木々などがセットされ、元の雰囲気からガラッと変わった空間に変身。秘められた場所を見事につくり出していました。

住所：大分県臼杵市野津町泊



TOSは、『わくわくをともに』をキャッチコピーに
2025年の開局55周年のキャンペーンを
2024年10月にスタートしました。
企業理念である『心躍る大分を創る』という思いのもと、
地域活性化に繋がるイベントや番組制作など
様々な取り組みを行ってまいります。

その一つとして、開局以来初の試みとなる
「時代劇ドラマ」の制作に挑戦します。
原作『はぐれ鴉』は、内容のドラマチックさはもとより、
大分県民でも知らないような歴史ロマンも描かれています。
大分県・竹田市が舞台となったこの原作を実写化することで、
大分の魅力や歴史を全国に発信したいと考えています。